小　中　一　貫　教　育　通　信

バトン

第１号　　令和４年１０月発行

発行者　豊小学校　豊浜中学校

小中一貫教育研究推進連絡会

令和4年度豊浜中学校区小中一貫教育研究テーマ

主体的・対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成

～ICT の効果的な活用を通した学習指導の工夫～

小中合同運動会

5月 14 日（土）
豊浜中学校にて

昨年度は無観客で行った小中合同運動会ですが，今年度は保護者の皆様にも感染対策に協力していただき，豊浜中学校にて有観客で実施することができました。

今年度のスローガンは，
「一致団結　～　一心不乱にベストを尽くせ！唯一無二の運動会～」。
『１人１人が全力を出し切り，仲間を信じ，心を１つにして頑張ってほしい。最後まで諦めずに全力を尽くして思い出になるような唯一無二の運動会にしたい。』という思いから，このスローガンが掲げられました。スローガンのもと，子供たちはこれまでの練習の成果を発揮して精一杯演技をしていました。

久しぶりに保護者参加競技も行われ，会場の一体感もさらに高まりました。参加して頂いた保護者の皆様，ありがとうございました。今年度の運動会はきっと，その場にいた全員の思い出に残る唯一無二のものになったのではないかと思います。

来年度の運動会では，コロナの感染状況が落ち着き，保護者の皆様はもちろんのこと，地域の方々にも子どもたちの頑張る姿を見て頂けるようになっていることを願っております。

敬老の日　花プレゼント

9月2日（金）
各地域にて

毎年の敬老の日に，いつも見守ってくださっている地域の方々に対し，豊浜中学校区の児童生徒が合同でプレゼントを作成しています。

今年度は，１～4年生はチューリップ，5･6年生はアサガオ，7～9年生はクローバ，ガーベラ，コスモス，ネモフィラ，ひまわりを折り紙で作成し，中学校区全員で１つのお花のリースを作りました。

ICT機器を活用し，中学校の生徒会執行部が各花の折り方をロイロノートにまとめたものを作成しました。すべての児童生徒がその折り方を見ながら，日頃の感謝の気持ちを込めて，一生懸命折り紙を折っている姿が印象的でした。

いつも，地域の方の温かい愛情に包まれて生活している子どもたちの，感謝の気持ちといつまでもお元気でいてくださいという願いが込められています。

今年度も敬老会の実施が難しい状況で，各市民センターの担当の方と，民生委員さんにご協力いただき，88歳，100歳の方のお宅に届けていただきました。

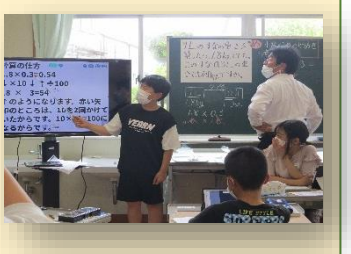
いつも，子どもたちを温かく見守り，声をかけてくださり，ありがとうございます。

これからも，どうぞお元気でお過ごしください。

小中一貫合同授業研究会

6月 1 日（水）
豊小学校にて

6月1日（水），5･6年生を対象に神開先生による算数科の合同授業研究を行いました。



当日は，広島大学大学院人間社会科学研究科の松浦武人教授に授業を見て頂き，ご指導をいただきました。

事後協議会では，「個々の児童生徒に向き合った授業にするにはどうすれば良いのか」「ICT機器を効果的に活用することができていたか」という観点で小中の教員で積極的な協議を行いました。

日々の授業を，より質の高いものにするために，教員１人１人が指導方法の工夫など研究を日々行っていくことが必要だと改めて感じることができた研究会となりました。

今後も，小中合同で研修を行い，ICT機器を効果的に活用しながら，小中一貫教育研究のテーマでもある「主体的･対話的に深く学び，思いを表現する児童生徒の育成」を推進していきます。

小中合同防災学習

5月25日（水）
各学校･各地域にて

出水期前の5月25日に，もしものときに備え，自分の居住区域の土石流警戒区域や避難場所を確認し，緊急時に１人で避難できる力を養うことを目的に小中合同で防災学習を行いました。

まずは各学校で，豪雨･土砂災害時にどういう対応をするべきかを確認した後，「土砂災害対応携帯マニュアル」を元に自分の住んでいる地域の避難場所，避難経路などを確認しました。

その後，各地域に分かれ，最寄りのバス停から避難場所に向かって実際に歩いてみました。避難場所にある災害対応表示の看板を確認し，そこからは各自宅に向かって経路や所要時間を確認しながら下校しました。

子どもたちは，「これを機に防災バッグを家に用意しておきたい。」「今まであまり意識したことはなかったけれど，避難する時に危ないところはないか注意しながら歩いてみると，意外と危険な箇所があった。」などと振り返りに書いていました。

これを機に，ご家庭でも，災害時の避難の方法･場所などについてお話をしてみて頂けたらと思います。